

【平成29年度指定型研究(官学連携研究)】

(1) 研究課題名 **高齢者の機能低下を最小限にするための看護連携システムの構築**

看護学科 角濱春美

現状

現在の地域包括ケアシステムでは、疾病が発症して回復し自宅に退院するまで、複数の病院や施設を経由し、高齢者では、移動している間に日常生活機能が低下する事例が散見される。病に関連する身体機能の低下や、大きな精神的ショックに加え、先行きの見えない不安を抱え、移転先での新たな生活の構築等の負担が、高齢者自身や家族を苦しめている。

研究目的

八戸地域の主要な病院の看護部長と連携し、患者に切れ目のない継続的な看護を行うためのシステムの構築

連携の課題

- ・看護情報の不足と無駄
- ・お互い知ることの有用性
- ・患者の生活や人となり、思いを伝えられるシステムが必要

研究内容

病院間で人事交流研修後、フォーカスグループインタビューで共有すべき患者の生活・看護の情報の抽出



情報共有の書類を見比べ重複している部分、何の情報が消えているのかを探索

**統一した情報セットの作成**

波及効果

- 病院間で一貫した看護が提供できる可能性